


事例・教材	ひっくりカエル～お風呂に入ってゲーム感覚でお口周りの筋肉を鍛えよう
狙い・ターゲット：	発音不明瞭なお子さん。一瞬なら口唇閉鎖は可能でも常時お口が開きっぱなしのお子さん向けに一定時間口唇閉鎖を促す遊び。
写真：	
目的	いつものお口の体操をお風呂でもゲーム感覚で遊んでみよう。
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏と表の素材または色が違う小さめのスポンジ数個。対戦ゲームなので相手チームと同数になるようにスポンジを用意する。</li> <li>・アイスクリームスプーン人数分。持ち手と先端が平らなモノがよい。(写真上のようなアイススプーン)</li> </ul>
内容、方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 湯船にスポンジを浮かべる。</li> <li>2) スプーンをくわえ、口唇を閉じる。</li> <li>3) 口にくわえたスプーンで自分のスポンジを全てひっくり返す。</li> <li>4) 相手より早く自分の持ち分を全てひっくり返した方が勝ち。</li> </ol>
方法(補足)	<p>スポンジは比較的長くお湯に浮かんでいますますが余り長く浸していると水分をたっぷり吸って重くなってしまいます。たまにスポンジの水分を絞って軽くしてあげると良いでしょう。最初のうちは1チーム2～3個が適当です。最初から張り切って沢山やるとお口が疲れたり痛くなったりしてしまいます。スプーンを口にくわえるときに上下歯で支えてしまっている場合も見られますが、口唇が閉じていればOKです。</p> <p>少し遊びになれてきたら、口唇の動きに注目してみましょう。スポンジをひっくり返すときに首を上上げるようにしてひっくり返すのではなく、首は動かさず、下唇の動きでスプーンを上下させるような動きでスポンジをひっくり返す動作をする事でさらに口唇部の機能の向上に繋がります。</p>